

Something New

Vol.34 2015年5月31日発行

● <http://www.minamiyamashiro.com/> ● E-mail general@minamiyamashiro.com

編集/社会福祉法人 南山城学園 〒610-0111 京都府城陽市富野狼谷2の1 TEL0774-52-0425 FAX0774-53-7578 発行責任者/磯 彰格

南山城学園の 50周年を迎えた法人の これから ネクストビジョン (後編)



▲昭和41年、定員30名から70名へ増員した頃

創立50周年という半世紀の節目を迎えたことを機に、磯理事長へ若手職員がインタビューした。前号 vol.33の前編では、磯理事長のプライベートから社会福祉法人の役割、スタッフに求められる資質や育成について語ってもらった。後編はネクストビジョンについて詳しく聞く。

CONTENTS

南山城学園のネクストビジョン (後編).....	1~4P
ネクストビジョン 2025	5P
金さん・伊藤さんのこぼれ話	6P
小規模保育園、開園！.....	7P
平成27年度 新規採用職員のご紹介.....	8P



社会福祉法人
南山城学園

シンボルマークについて

人と人がよりそう姿を南山城学園のMとYで表しました。

- ピンク色は、障害のある方や高齢の方、子どもたち。
- 水色は、当法人の職員や福祉にたずさわる人々。
- 緑色は、人と人がよりそうことができる地域社会。
- そこで生まれる心の交流を、黄色で表しています。

7つの誓い

- ① 質の向上に向けた意欲と実践
- ② ルールと正確性の重視
- ③ 利用者理解と個別サービスの追求
- ④ セルフイメージの向上と影響力
- ⑤ 職員の支援と育成
- ⑥ チームワークとリーダーシップ
- ⑦ 専門性の向上と活用

※「7つの誓い」法人の理念を実現するための職員行動指針です。



あやくもかん
▲福祉避難所の機能を備えた「彩雲館」

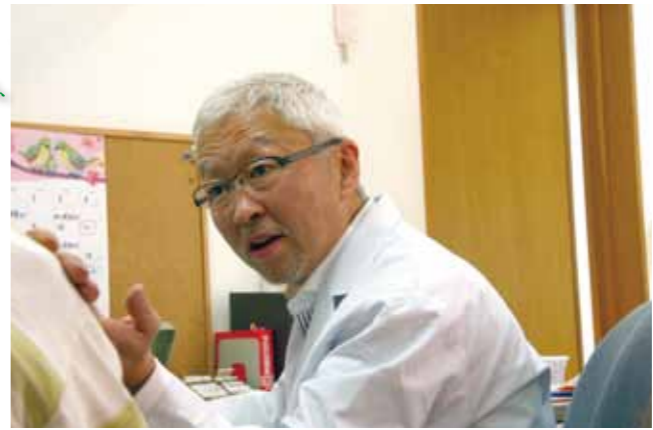
利用者様、ご家族、地域の皆様と共に歩んだ50年、まず感謝です



▲昭和40年 幼少期の現理事長も一緒に舞鶴まで海水浴

万殿支援員(以下、万殿) 50周年といえば半世紀という長い期間になりましたが、それを迎えての理事長ご自身のお気持ちを教えてください。
磯理事長(以下、理事長) 利用者様、保護者様、地域の皆様などに支えられての50年。まず感謝の気持ちで一杯です。先代の理事長亡き後、30周年の時

からこの仕事に就きましたので、まだ20年ですが、この間は時代も法人も変わっていく大きな節目だったと思います。時代や社会に追いつき、追い越せと切磋琢磨して参りましたが、スタッフの日々の研鑽が50年という年月に結びついたと思います。



いぞ あきただ
▲磯 彰格 理事長

写真は
何をして
いるの？

法人の診療所にて利用者さまを診察しています。毎朝、こうして利用者さまやスタッフの皆さんとコミュニケーションをとっています。

大西副施設長(以下、大西) 今までの南山城学園とこれからの南山城学園の違いは何でしょうか。

南山城学園プログラム

理事長 また、実践においてはエビデンス(医療用語…科学的根拠)を重視した、南山城学園プログラムを構築していきたいと考えています。
万殿 プログラムですか？



写真は
何をして
いるの？

洗濯作業後の枕をミシンで縫い直している所です。納品間近なので私も利用者様もいっしょに真剣な表情になっています(笑)。

まんどの あやか
入職2年目 万殿 文香支援員(障害者支援施設 魁)
魁は主に、ある程度自立して仕事ができる方々を支援している。施設内の作業場では、コンセントのプラスチックフレームにネジや鉄板をはめる作業、枕や防水シートの洗濯、選別のリネン作業を行う利用者様を補佐している。

理事長 医療であれば、それぞれの患者に対し、データに基づいたこのような治療をしようというプランがあります。今、光や翼で取り組んでいるP.E.C.S(※)等も同じようなことです



写真は
何をして
いるの？

サービス管理責任者として個別支援計画の評価会議を行っています。行政手続きや勤務表の作成、現場の意見を聞いたりしています。

おがし よしこ
入職6年目 大西 香子副施設長(障害者支援施設 円) 施設長の補佐、現場職員との連絡調整をする。医療、保険等行政手続き事務の管理や 個別支援計画の進捗管理を行っている。

理事長 今までの50年は既存の福祉事業の充実を中心に取り組んで来ましたが、今後はこれらの事業の成長、発展に加え、多方面から社会に貢献できる事業に力点を置いていくことが重要だと考えています。まさに次のステージに向けて進んでいくということです。
「7つの誓い」変えるべきものは何か

※P.E.C.S(Picture Exchange Communication System)
詳細は前号をご参照下さい。
山本 そうですね。



写真は
何をして
いるの？

新採職員のOJTとして、一緒に業務内容を確認中です。

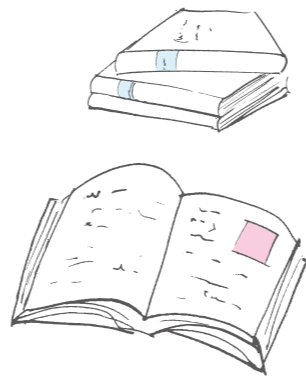
やまもと しゅうへい
入職6年目 山本 周平支援員(障害者支援施設 光)
光は主に自閉症の方を支援している。今年からは、サービス調整担当として、利用者様がより充実した生活を送れるよう、日々の支援内容を利用者様や職員と一緒に作成、実施している。

理事長 科学的な根拠を持って生活場面などでの支援を提供する。そのために大学などの研究機関と連携(産学連携)ができればと考えています。今の支援はまだまだ経験値でやっていることが多いように思います。「山本くんがいないと、支援できません。」というような状況は、データの蓄積がな

山本支援員(以下、山本) 次のステージに進むということですが、南山城学園のネクストビジョンは何でしょうか。

理事長 法人理念を具体化した「7つの誓い(※)」を基本姿勢としながら、一つひとつの質の向上を追求していくこと。そして新たな福祉課題に対する挑戦。本誌のタイトル「Something New」そのものです。その追求と挑戦の中で、変えるべきものは何か、変えてはいけないものは何かを見極めていきたいと考えています。

例えば、昨年6月、50周年事業の一環として完成した福祉避難所機能を備えた彩雲館の活用です。彩雲館を地域へ開放し、様々な形で社会還元を行う拠点にしていこうと考えています。そのような活動によって、次の福祉課題も見えてくるのだろうと思います。



く、ノウハウになつていないと判断されてしまいます。そうではなく、根拠をきちんと付け、誰が見ても納得のいく支援を行えるよう努めていくことが重要だと思います。それが般化され、第三者が学びに来たいと思うようなプログラムです。
山本 たしかに感覚的に支援しがちなところもあり、引き継ぎをする時にズレが生じていると感じることがあります。
理事長 そういうズレを、根拠をもって修正していくことが大事だと思います。エビデンスを携えた南山城学園流の介護、支援、保育を構築し、次世代へ繋いでいきたいと思っています。



番外編 障害は個性？

万殿 個人的な質問になりますが、「障害は個性である」という考え方について理事長はどう思われますか。

理事長 言葉としては十分理解してはいますが、一方で私たち支援者がそれを免罪符にしてはいけないと思います。他人に迷惑かけているのに「これは個性ですよ」というのは、誰からも理解は得られない。ノーマライゼーション」という言葉も同じで、「社会が障害者に合わせる」という啓発も重要ですが、本人が社会に合わせるために努めることも等しく必要だと思えます。そのために私たちがどう支援をしていけばよいのか？という意識改革が必要です。

万殿 具体的な意識改革を教えてくださいませんか。

理事長 例えば、知的障害のある方が通勤で電車を使うとします。朝の通勤電車は満員。もちろん優先席がありませんが、当たり前のように座るのはどうでしょうか。電車の座席は高齢者、妊婦、身体障害者などみんなの席であることを理解する必要も出てきます。「社会で我慢しないといけないこと」

もあるということも習得して頂き、社会への参加を促していきたい。利用者様が接客の訓練をされている法人内のカフェ、「ぶらたん」や「ぶちぼん」ともそうです。ところによっては、コーヒーがいつこぼれてもいいように、テーブルをビニールシートで覆っているお店がありますが、当方ではそのようなことはせず、一般客にたくさん来店してもらえそうな店構えにしてあります。理由は、利用者様、そしてスタッフに緊張感を持ったサービスを提供してもらいたいからです。



▲京都市伏見区にあるカフェぶらたん

山本 最近、ぶらたんは人気で席が埋まっている状態ですよね。

理事長 行列のできるカフェになるまでには少々手間と時間がかかりました。その経過の中で、利用者様の頑張っておられる姿に感銘を受けたというお客様の声をたくさん頂けるようになったことが、多くのスタッフの働き甲斐になったことでしょう。地域の方にそのような姿をもっともって見てもらえる機会や場面を提供することで、それが単なる交流に終わらず、地域福祉の醸成に繋がることが願っています。因みに利用者様Sさんは、ぶらたん以外で会うときは「どないしてんの！」と話しかけてくれますが、お客さんとして寄せて頂いた時は「ご注文は？」といい緊張感を持って接客してくれます。

◆編集：佐々木 渡邊

◆撮影：渡邊



50周年を迎えて、次の50年に向けて

ネクストビジョン

2025

ネクストビジョン2025

は、法人創立50周年事業の一環として実施した、「経営環境調査」、具体的には「職員意識調査」、インターネットによる一般市民アンケート、メディア・行政ヒアリング等を踏まえて策定したものです。

この「ネクストビジョン2025」を実現するために全スタッフが一丸となって取り組んでいきます。

法人理念

- ・利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。
- ・地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。
- ・いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。

長期ビジョン2025

今後10年間に予想される経営環境を見据えて、法人理念を実現するためにめざすべき方向を示したものです。

Quality

暮らしの質の向上

利用者様ならびに地域でお住まいの方々が、末長く自分らしい生き方ができるサービス提供を目指します。

Resource

経営資源の有効活用

50年にわたり培ってきたノウハウや人材を活用し、社会に還元するとともに、地域福祉の充実・発展に寄与します。

Creation

創造性の発揮

セーフティネットとしての役割など、次代が求める福祉課題に対応し、福祉を必要とする全ての方を対象に新たな地域包括ケアを創造します。

中期経営計画 2020のポイント

今後5年間に「長期ビジョン 2025」を具現化するための行動目標。

- 1 障害者の地域移行
- 2 高齢障害者の居住安定
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 地域コミュニティの活性化
- 5 福祉教育・啓発の推進
- 6 魅力のある職場づくり
- 7 災害時の対応
- 8 保育・子育て支援事業の展開
- 9 生活困窮者への支援
- 10 研究と実践の連係

※記事中の利用者様様集合写真につきましては、城陽保護者会様のご了解を得て掲載しています。



▲毎年恒例だった大運動会（昭和50年代）



金さんの 伊藤さんの こぼれ話

金正伊さんが南山城学園に入所されたのは学園が創立された50年前、20歳のときでした。

「このあたりは畑ばかりだった。私たちも、なっば植えたり、牛やヤギを飼ったりしてました。鶏も飼って、卵売りに行きましたよ、紙に包んで、1kgなんぼで」

思い出をお聞きすると、当時のことを懐かしそうに話してくださいました。

「断水してね、みんなで洗面器持って大久保まで1時間くらい歩いて風呂に行ったこともありましたね。(先代の)理事長が、みんな、集まりなさい」と言って、理事長室に集めて、みんなでカラオケ歌ったり」

先代の理事長は「とてもやさしかった」そうです。

「園内を散歩して、(先代の)理事



金正伊さん(70歳 在園50年)

長の銅像の前を通ると、拜んでんねん。昔、舞鶴まで海水浴に行ったとき、小ちゃかった息子さんが今の理事長やね」

60歳で高齢者対応型施設「和」の櫺寮に來てからの金さんの日課は「編み物」。帽子、座布団、こたつカバーなどを編みながら、ガイドヘルパーと一緒に外出してのレクリエーションを楽しみにしておられます。



伊藤恵子さんが南山城学園に入所されたのは1975年。20歳の頃、40年間、就労支援をメインとする「魁」で過ごされています。

現在は、クリーニングで仕上がった洗濯物を各施設に振り分ける仕事をされています。

「10年間...(もつと)長いこと、います。(施設の)名前見て、(洗濯物を)分けて、お茶休憩して、エレベーターで納品に行く。はよう終わるときは3時半まで。名前を早く見たら、あきません、ゆっくり見なさい、と言われます」

楽しみは、週1回の買い物。それに、カラオケ、ボウリングなどのレクリエーション。

「買い物は職員さんが車で連れて行ってくれます。おやつと飲み物、たくさん買います。レシートが2枚になったら、あきません。1枚なら、ええて」

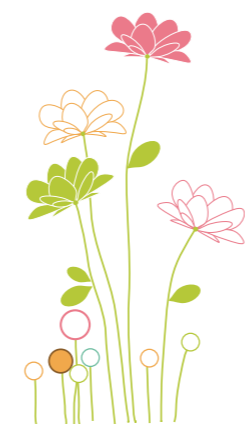
今後の希望は、櫺へお引越し。

「60歳になったら、櫺に行きたい！櫺はエレベーターがある。食事のところで、みんなでごはん食べてはる。」



伊藤恵子さん(60歳 在園40年)

高齢者対応型施設「和」は櫺寮と櫺寮に分かれ、60歳以上の方が主に趣味や余暇活動で過ごされています。伊藤さんは、家族のようにアットホームな環境のなかで老後を過ごされることを何よりも望んでおられるようです。



小規模保育園、開園！

〈保育方針〉

かぜの詩

そらの詩

はなの詩



”あのね“を聞ける保育
子どもたちは、日々の生活の中で、たくさんことに気づき、たくさん発見をし、その気づきや発見に耳を傾け、子どもたちから”先生、あのね“と発信できる保育を目指します。



いあいさつ

平成27年4月1日から「かぜの詩・そらの詩・はなの詩」3ヶ所の保育園を開園しました。今は始まったばかりで、大きな泣き声が響いていますが、新しいおもちゃに目を輝かせたり、お散歩で



たくさんの方々に声をかけてもらいます。そのような中で、園児さんも職員も少しずつ保育園での生活に慣れてきたところです。子どもたちの笑顔があふれ、地域の皆様に愛される園となるよう精進してまいります。今後とも、指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

園長 日比野 桂子

遊びを成長につなげる保育

子どもたちは、遊びの中から”手“や”足“の巧緻性(器用さ)を高めていきます。子どもたちが今日できるようになったことを見逃さず、”そつと“成長につなげていく保育を目指します。



いつも“笑顔”でいる保育

子どもたちの”笑顔“は、関わる人々からもらってつくられていきます。子どもたちがいつも”笑顔“でいられるように、いつも”笑顔“であふれている保育を目指します。

パパ・ママと見守る保育

パパ・ママにとって居心地がよいことは、パパ・ママとの信頼関係が築けている証です。パパ・ママの悩みに耳を傾け、家庭とともに子どもの成長を見守る保育を目指します。

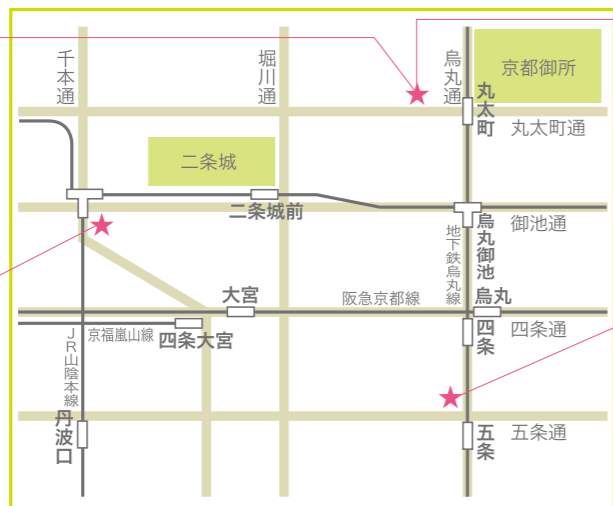


保育事業局事務室

〒604-0867
京都市中京区丸太町通烏丸西入る常真横町187
烏丸丸太町テナント2階
(地下鉄烏丸線・丸太町駅 徒歩1分)
TEL 075-252-1222
FAX 075-252-1223

そらの詩 保育園

sora no uta hoikuen
〒604-8382
京都市中京区西ノ京北聖町68
ジョイフルスクエア二条101
(地下鉄東西線・二条駅 徒歩5分)
TEL 075-813-5158
FAX 075-813-5159



かぜの詩 保育園

kaze no uta hoikuen
〒604-0867
京都市中京区丸太町通烏丸西入る常真横町187
烏丸丸太町テナント1階
(地下鉄烏丸線・丸太町駅 徒歩1分)
TEL 075-229-6929
FAX 075-229-6930

はなの詩 保育園

hana no uta hoikuen
〒600-8106
京都市下京区醍醐町290
烏丸五条ビル1階(烏丸五条北西角)
(地下鉄烏丸線・五条駅 徒歩1分)
TEL 075-353-7295
FAX 075-353-7296

平成27年度 新規採用職員のご紹介

皆さんに聞いてみました
「私ってこんな人！」

介護老人保健施設 煌(きらめき)

煌(通所リハビリテーション)



川本 智香



長谷川 愛



東 美沙



門脇 菜穂



福田 恵美子



山崎 晃

障害者支援施設 円(まどか)

障害者支援施設 和(なごみ)

障害者支援施設 魁(きまが)

障害者支援施設 翼(つば)

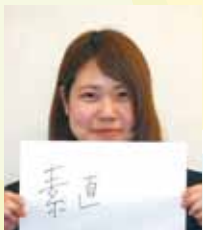
障害者支援施設 凜(りん)



廣田 大地



谷口 彰一



森口 綾乃



中谷 剛



新田 明香音



榎木 純子

障害者支援施設 凜(りん)

高齢者サービスセンター すまいる

グループホーム 支援室

障害者職業生活支援センター はびねす

診療所



山添 優



畑中 良文



宇野 日実子



筑井 一哉



梅田 裕子



三上 恵莉

障害者支援施設 光(ひかり)

障害者支援施設 輝(かがやき)



辰村 佳樹



中 祐子



野筋 隆史



吉川 愛恵



海野 江里子



永谷 麻弥

障害者支援施設 輝(かがやき)

かぜの詩保育園

そらの詩保育園

はなの詩保育園



藤林 大地



三田村 準紀



野吹 有希



小澤 愛美



樫 明美



吉田 省太

法人本部事務局



伊藤 裕之



黒川 真子



服部 美咲



藤田 友樹

